

令和元年度松本市教育文化センター運営委員会概要

1 開催日時及び場所

- (1) 令和元年9月13日（金）午後3時～4時
- (2) 教育文化センター1階講義室

2 出席者

(1) 委員出席者

奈良井委員、宮坂委員、横山委員、伊藤委員、山口委員、百瀬委員、多田委員、澤柿委員、木下委員

(2) 事務局出席者

赤羽教育長、小林課長、加藤所長、桐原館長、金井課長補佐、倉田課長補佐、小林指導主事、大澤主任

3 会長選出及び職務代理者の指名

条例（別紙1）に基づき互選により選出

(1) 会長

奈良井委員

(2) 職務代理者

宮坂委員

4 会議事項

(1) 教育文化センターの概要、平成30年度決算及び令和元年度主要事業について

ア 事務局説明

(ア) 令和元年度職員体制は2名減（旧山辺学校校舎所管換えに伴うもの）

(イ) 平成30年度プラネタリウム利用者が約3割減（改修工事のため）

(ウ) 令和元年度は新科学館整備を見据えた宇宙関連事業を拡大実施

a 天文台JAXAツアー（新規・倍率10倍を超える人気事業）

b プラネタリウム番組制作講座及びその発表（新規）

c 講演会（プラネタオープン記念・長野県は宇宙県キックオフ）（新規）

d コズミックカレッジ（JAXA協力事業）（継続）

e 天体観望会（継続）

(オ) 情報提供及び広報活動の拡充

a プラネタリウム通信「ほしみる」カラー化（通信自体は継続）

b Twitter（SNS）による広報（新規）

c テレビ松本によるプラネタリウムCMの制作及び放映（新規）

(カ) 一日学習は、内容を一部更新し、旧山辺学校校舎学習を追加

(キ) プラネタリウムのリニューアルオープン

a 最大800万個の星を映し出す光学投映

b 多彩な番組や迫力の映像を映し出すデジタル投映（4Kプロジェクター）

イ 出席者からの意見・質問等

(ア) 事業内容の幅が広がり、深まっていると評価

(イ) 継続性という視点から、プラネタリウムの運営について説明していただきたい

⇒ ・新科学館基本計画に記載のうえ、開館後も継続運営

- ・利用者の声を運営に反映
- ・デジタル投映部分は技術革新とともに更新可能（光学投映部分は、技術革新に関わらず長期の使用に耐えるもの）

(ウ) 全国に誇るプラネタリウム事業を望む（人員配置を含めた事業内容の更新）

(2) 新科学館整備事業について

ア 事務局説明

(ア) 事業の経過（平成30年度に基本構想策定・議会承認）

(イ) 事業の計画（基本計画・基本設計・民間活力の導入・市民の声の反映等）

(ウ) 諸室配置イメージ案（基本構想レベル）

イ 出席者からの意見・質問等

(ア) 耐震診断結果の報告をしていただきたい（安全面こそ最重要）

⇒ ・現状で耐震基準を満たしている

・劣化度調査の結果は良好につき、大幅な耐震補強は不要と判断

(イ) 3階の諸室配置を説明いただきたい（現状の会議機能は松本教育の要となっており、新科学館にも継続して位置づけることを強く希望）

⇒ 現状と同等スペースの会議室を配置予定

(ウ) 駐車場の拡大及び歩行者（特に登下校児童）への安全対策の実施を望む

⇒ 検討